

蚊に注意！！

デング熱の媒介となるヒトスジシマカは5月中旬～10月下旬に活動がみられます。
蚊の数を減らすことがデング熱の予防につながります。

< 蚊を発生させないために >

幼虫の発生源をなくすことが有効です。

ヒトスジシマカは小さな水たまりに卵を産み、幼虫が発生します
バケツ、水槽、古タイヤ、プラスチック容器、ビニールシートのくぼみなどにも幼虫が発生するので、これらの水たまりをなくすことで発生する蚊を減らすことができます。

< 対策 >

不要な水たまりをなくす

撤去できない水たまりは、週1回は清掃や水の交換等を行う

成虫対策

* 成虫は、やぶや草むらに潜んでいるので、それらを定期的に刈り取ることで、生息場所をなくしましょう。

* 扉や網戸の開閉を極力減らして、屋内への侵入を防ぎましょう。

* 長袖シャツ、長ズボンを着用するなど肌の露出をおさえ、露出面には虫除けスプレーを使用するなどして刺されないようにしましょう。

お問い合わせは 平塚市環境部環境保全課
0463-23-1111 内線2658